

## 令和7年度 第1回 福井鉄道福武線活性化連携協議会 議事録

日 時： 令和8年2月5日（木） 10:00～11:30

場 所： 福井県織協ビル602号室

出席者： 別紙出席者名簿のとおり

資 料： 別紙資料のとおり

### 開会

#### 1 会長挨拶

#### 2 議事

規約第8条第3項により座長が会議の議長となって議事が進行された。

##### 報告（1）福井鉄道からの報告について

福井鉄道から説明（報告（1）-①～③資料参照）

##### <質疑応答>

○座長

相互乗り入れの減少分は、特定の区間の問題なのか、それとも全区間での問題なのか、どちらでしょうか？

○福井鉄道

乗り入れの区間では、通学なら福大前西福井駅、通勤だと新田塚駅が乗降数が多いのですが、そこも含めて減少が見受けられます。

○座長

資料（1）-③で、令和7年度の8、9月は、他の月と比べて、前年比での減少が見られない理由はありますか？

○福井鉄道

沿線の施設でイベントが多くあり、乗降数の減少に歯止めがかかったものと思われます。

他に意見がないことを確認し、報告（1）終了。

##### 報告（2）福武線再建スキーム管理部会及び福井鉄道交通圏地域公共交通計画主要施策の進捗状況について

越前市から説明（報告（2）-①～⑤資料参照）

##### <質疑応答>

○委員

資料(2)―⑤―1のパーク&ライドの駐車場の使用率ですが、大体の駅で増えているのですが、たけふ新駅とか、江端駅とか伸びが落ちている。落ち込んでいる理由は、あるのでしょうか？

○福井鉄道

たけふ新駅では、通勤利用者数も減少しており、それに連動しているものと思われる。江端駅に関しては、駐車場一部で舗装改修があり、使用できない期間があった事で、利用者数が減少したものと思われる。

○委員

資料(2)―⑤―7のカーシェアですが、収支の面とか、実証された手ごたえはいかがでしょうか？

○福井鉄道

カーシェアの車を設置したたけふ新駅、北府駅、神明駅、ベル前駅、田原町駅のなかで、想定に近い利用があったのは、たけふ新駅と田原町駅でした。他の駅の低迷はPRが不足していたものかと考え、周知徹底を図りたいと思います。また、日中のビジネス急行5本の増便は、利用者が少なく昼間時間帯に急行の需要というものが、なかなか掘り起こせなかったかなというふうに考えております。

○委員

維持補修に大変費用が掛かっているのですが、状況を教えてください。

○福井鉄道

鉄道の場合におきましては、レールなどの線路設備、それから変電所、電車線などの電動設備、それからまた、車両設備の大きく3つに分けられます。そのなかで今年度は老朽化した770系という車両に故障が相次ぎ、その修繕整備に多額の費用を要しました。

○委員

カーシェアの運用は、利用者が会員登録を行わないといけないのでしょうか？

○福井鉄道

このシステムは福井大学との連携で実現したもので、スマホにアプリを取り込むことにより、そこから予約を行う事が可能です。

○委員

乗客の減少に関してですが、競合路線であるハピラインは、増便や快速を走らせる等を実施して、利便性の向上に努めており、そちらに人が流れているのではないかと。また、ハピラインと同じ土俵で勝負しても力負けするのも明らかである。どのような対策を進めていくのかの思いを聞きたい。

○委員

公共交通機関を利用する人の減少するパイを取り合っているにもかかわらず、公共交通機関を利用する人のパイを増加させる施策を、行政を一体となって進めてまいりたい。また、ダイヤの改正や料金の値引き等で、比較の対象として見てもらえるよう努力し、経営状況も上げて行きたい。

○座長

今のお話からすると、通勤通学の確保がベースになってくるが、それが減少傾向であるという現状もあり、定期外利用を取り込む為のイベントの取り組みもやられておられますよね。そこについて、SNS とかで発信するのが今の時代大切だと思うのですが、そのあたりで、取られている手段等をお聞かせ願いますか？

○福井鉄道

SNS でしたら、インスタ・X で発信しておりますし、県内53社のサポーター企業様へのメーリングシステムでのイベントの発信、また、福井県観光連盟が、東京、大阪、名古屋で行う観光商談会に参加して、PR に努めております。また、新たなアイデアがございましたら、お聞かせいただきたいと思います。

○座長

県外の方もそうですし、地元の方にもこの地域を楽しむなかで、鉄道をどう利用していいのかを発信する事が大事ですよ。

○委員

今の観光連盟との連携という話をお聞きして思ったのですが、企業様との連携で通勤の割安な運賃設定を行うとかできないでしょうかね。

○福井鉄道

おっしゃる通り、沿線企業様にご協力いただけると、イベントへのご参加や通勤時の活用、業務としても福武線のご利用等、非常に重要なものとなると認識しております。その為、一昨年に福鉄サポート企業を30社からスタートさせました。(現在53社) 特典として、通勤定期をお持ちのご家族は、①福武線に100円で乗車できる。②1日フリー切符を5枚進呈しております。今後もサポート企業数を増やしていくよう努めます。

○委員

越前市郊外や鯖江市の企業は、大きな駐車場を持っているので、車通勤になってしまう。武生駅近郊や福井市は大きな駐車場がなかったりするので、そういうところとの連携を進めると良いと思う。

○福井鉄道

各企業様の通勤形態や駐車場の大きさ等には、それぞれ違いがあるかと思うので、沿線地域への展開を広く進めていきたい。

他に意見がないことを確認し、報告（２）終了。

報告（３）の国への要望の実施について。

事務局から説明（報告（３）資料参照）

中部運輸局磯本オブザーバーより、内容のご確認をいただく。

報告（３）終了

報告（４）の共創モデル実証運行事業の実施について。

事務局及び福井鉄道から説明（報告（４）－①～②資料参照）

<質疑応答>

○座長

シェアカーですが、田原町駅、たけふ新駅では想定内の利用状況との事ですが、これらの駅から３時間程度の利用があるようですが、どのような所へ向かわれているか、情報はあるのですか

○福井鉄道

目的地等の情報は得ていないのですが、折り返し運用ですので、１時間程の距離を往復移動されていると推測しております。

○川本座長

個人情報の兼ね合いもあり微妙な点もありますが、観光目的で利用されているのであれば、貴重なデータになり得ますよね。

○福井鉄道

運行主体の福井ダイハツ販売から、全ての情報をもらっているわけではないので、確認してみて、統計として使えるものがありましたら、報告の中に組み入れたいと思います。

他に意見がないことを確認し、報告（４）終了。

議案（１）次期地域公共交通計画等の策定に向けて

事務局及び福井鉄道から説明（議案（１）－①～⑦資料参照）

<質疑応答>

○委員

福井鉄道・えちぜん鉄道連絡定期（通勤・通学）の値引きに関して、鷺塚針原駅からの値引きが表示されていないのは、値引きが設定されていないのか

○福井鉄道

利用者の多い福大前西福井駅を利用した一例を記載したもので、相互直通区間のたけふ新駅～鷺塚針原駅間の全駅で値引き設定があります。

○委員

武生方面に向かう田原町駅以北のえちぜん鉄道の乗客を、福井鉄道に取り込んでいくのが重要で、そのような利用者数を把握されているのでしょうか？

○福井鉄道

今は持ち合わせていないが、どの駅からどの駅まで、何人が利用しているかが判るODデータで把握しています。

○委員

今回のダイヤの編成や、急行の増便による時間の短縮等 PR もしやすいもので良いと思う。先程の企業との連携だけじゃなく、学校との連携も進めて行けば良いのでは。

○オブザーバー

この事業は単年度の実証事業だと思うのですが、本年度を終えた後の継続等はどのように計画されているのか教えて下さい。

○福井鉄道

基本的には継続する事を視野に入れております。効果が出たかによる修正等も出てくるかと思いますが、利用者の利便性向上に向け、展開していくように考えております。

○オブザーバー

この事業とサービス提供は、必ずしもイコールなものではないという理解でよろしいですね。はい、わかりました。

○座長

それでは、沿線の市町からご意見いただけますか。

○福井市

「鉄道事業再構築事業」を見据え、今後の支援の在り方も含め、福武線の活性化についての検討を進めたい。地域公共交通再構築調査事業を実施することで、利用実態や将来需要を改めて整理することが重要だと考えます。

○鯖江市

福武線の重要度は、十分認識しており、引き続き支援を行っていく必要はある。ただ、自治体の負担が過度なものとならないよう、再構築調査事業などでしっかりと検証していただきたい。

○越前市

福武線の将来を見据えた、持続可能な支援のあり方については、検討を深めていく必要がある。また、関係者が連携しながら福武線の活性化を進めていきたい。地域公共交通再構築調査事業で、利用実態や将来の需要動向を把握するため、丁寧に事業を進めてもらいたい。

○座長

沿線、市町の意見を聞いて、福井鉄道からも一言いただけますか

○福井鉄道

福井鉄道福武線の持続化/活性化に関する貴重なご意見、また、沿線各市からの当社支援のご発言をいただき、感謝申し上げます。福武線におきましては、先ほどからの報告のように、当社を取り巻く環境はより厳しさを増している状況であります。

このため、えちぜん鉄道・ハピラインふくいとの事業連携を強め、利用者の利便性向上を目指し、サービス向上・利用促進施策を実施していきたい。その為には、国の「鉄道事業再構築事業」の認定が必要不可欠であることから、この取り組みへのご協力をお願いいたします。

○座長

沿線市、交通事業者からの意見をいただきましたので、県のほうからもご意見いただけますか？

○福井県未来創造部

紹介いただいた再構築事業の実証事業・調査事業は非常に効果的なものと思います。得られた効果等を十分整理いただいて、沿線市と県が一緒になって支援をしていきたいと思っております。

他に意見がないことを確認し、議案（1）終了

議案（2）令和7年度収支予算の修正について

事務局から説明（議案（2）資料参照）

他に意見がないことを確認し、議案（1）終了

3 その他

議長より、その他の意見・報告の確認

○委員

福井市内とかで、全国規模の会合が開かれる場合があるが、そのような情報を事前にキャッチして、福井鉄道沿線のPR活動を行えば、集客を図れると思う。

○座長

街づくりという施策にもつながりますので、進めてもらいたいと思います。

他に意見がないことを確認し、終了

閉会